SONY

4-735-086-**02**(1)

エレクトレットコンデンサー
マイクロホン

取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。

⚠注意 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、けがをしたり、周辺の物品に損害を与えることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

* 4 7 3 5 0 8 6 0 2 * (1)

ECM-100U / ECM-100N

電源について

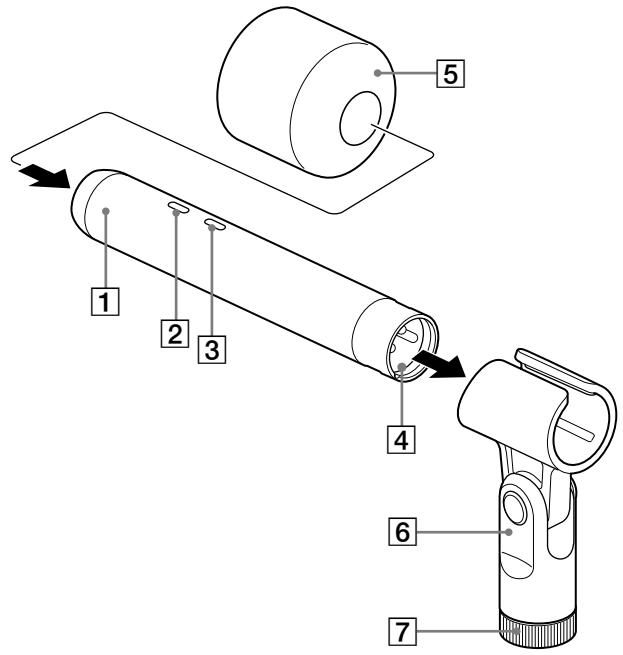
このマイクロホンは外部給電方式専用です。マイクロホンの出力端子4と外部電源機器のACパワーサプライ（ソニーAC-148Fなど）や、オーディオミキサーのマイクロホン端子に接続します。接続には、マイクロホンケーブルをご使用ください。

ご注意

このマイクロホンには不平衡型ケーブルは使用できません。**必ず平衡型ケーブルを使用してください。**

各部の名称と使いかた

（文の番号と図の番号を照らし合わせてご覧ください。）



1 **マイクロホン本体**

2 **PADスイッチ**
入力が大きいときにお使いください。
0dB:　オフ
-10dB:オン

3 **LOW CUTスイッチ**
風雑音等を効果的にカットします。
▬:標準特性
⌐:LOW CUT特性

4 **出力端子（XLR-3-12Cタイプ）**
マイクロホンで集音した音声が出力されます。また、外部電源使用時には、電源が外部から供給されます。

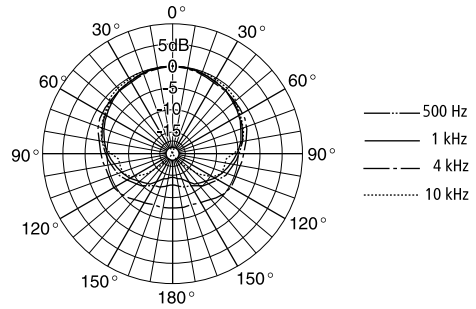
5 **ウィンドスクリーン**
マイクロホン本体1にかぶせて使うと、風や息がマイクロホンに直接当たるときに生じる雑音を低減します。

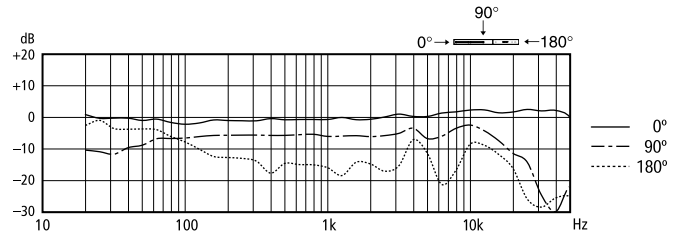
6 **マイクロホンホルダー**
マイクロホンスタンド（別売）にマイクロホンを取り付けるときなどに使います。角度調整部のネジがゆるんだときには、コインなどで締め付けてください。
マイクロホンホルダーにはスタンドアダプターがあらかじめ装着されています。スタンドアダプターを使用しない場合は、取り外してからマイクロホンスタンド（別売）に取り付けてください。

7 **スタンドアダプター**

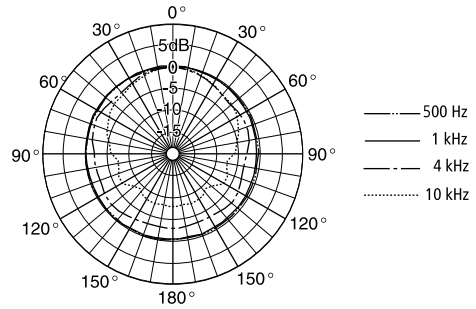
指向特性と周波数特性

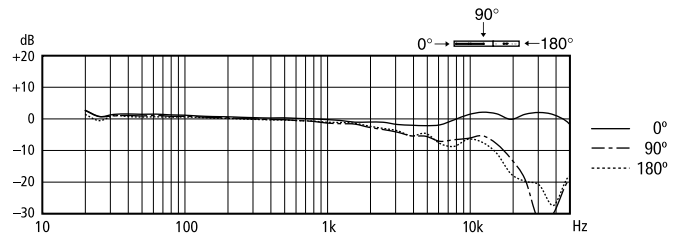
ECM-100U





ECM-100N





©2018 Sony Corporation　Printed in Japan

主な仕様

形式
エレクトレットコンデンサー型

電源
外部供給方式　DC 44 V～52 V (IEC* 61938 P48)

消費電流
2.5 mA以下

出力端子
XLR-3-12Cタイプ

外形寸法
Φ19 mm×130 mm

質量
130 g

付属品
マイクロホンホルダー(1)
ウィンドスクリーン(1)
スタンドアダプター(W3/8 - NS5/8) (1)
キャリングケース(1)
取扱説明書(本書) (1)
保証書(1)

以下の項目はJIS C-5502-1991マイクロホン工業規格に準拠して試験したものです。

周波数特性
20 Hz～50,000 Hz

指向特性
単一指向性(ECM-100U)
全指向性(ECM-100N)

出力インピーダンス
100Ω±15%　平衡型

正面感度
-41 dB(ECM-100U)
-36 dB(ECM-100N)
(偏度±3 dB、0 dB=1 V/Pa, 1 kHz)

固有雑音
21 dB SPL以下
(0 dB=2×10^{-5} Pa)
(IEC* 61672-1 A-Weighted, 1 kHz, 1 Pa)

最大入力音圧レベル
142 dB SPL以上(ECM-100U)
145 dB SPL以上(ECM-100N)
(マイクロホンの出力信号が1 kHzで1%の波形ひずみを生じる入力レベルの等価入力音圧換算値、0 dB=2×10^{-5} Pa)

ダイナミックレンジ
121 dB以上(ECM-100U)
124 dB以上(ECM-100N)

PAD
0 dB/-10 dB(切替)

Low Cut フィルター
Flat/30 Hz(切替)

*　IEC(国際電気標準会議)規格による測定値です。
CEマークは主にEEA(European Economic Area)各国など、法律に定められた国においてのみ有効です。

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

使用上のご注意

- マイクロホンは敏感です。落としたり、強いショックを与えたりしないようにしてください。
- 高温多湿、特に気温が60 ℃以上のところで長時間使用・保存することは避けてください。ノイズ、不良の原因になります。
- 使用中、「ピー」という音(ハウリング)が発生することがあります。これは、スピーカーから出る音をマイクロホンが拾ってしまうために起こります。これを防ぐには、マイクロホンとスピーカーを向き合わないようにし、その距離をできるだけ離してください。
- このマイクロホンの出力信号は、平衡(バランス)出力です。不平衡(アンバランス)には対応していませんので、必ず平衡(バランス)入力回路に接続してください。
- マイクロホンケーブルは、コネクターハウジング部がアース(1番ピン)に接続済みのケーブルを推奨します。
  アース接続されていないケーブルはノイズを発生することがあります。
  アース端子がある場合は、その端子に接続することでノイズが改善することがあります。
  また、複数のマイクロホンケーブルを延長して使用する場合、コネクターハウジング部が床に触れるとノイズが悪化する場合がありますのでご注意ください。

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 接続先の取扱説明書も必ずお読みください。
- 安全のために注意事項を守る。
- 故障したら使わない。
- 万一異常が起きたら、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店に修理を依頼する。
- 長期間安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。
  点検の内容や費用については、お買い上げ店にご相談ください。

警告表示の意味
この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、火災やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号
注意

行為を禁止する記号
分解禁止　禁止

行為を指示する記号
指示

⚠注意　**下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。**

集音以外の目的に使用しない
集音以外の目的でご使用になりますと、思わぬ事故、火災やけがの原因となることがあります。
禁止

使用時は周囲の状況に注意をはらう
周囲の状況を把握しないままご使用になりますと、事故やけがなどの原因となります。
指示

雨のあたる場所や、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所に設置しない
上記のような場所やこの取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。
禁止

運搬時には、接続ケーブルを取り外す
本機を運搬する際には、接続ケーブルを必ず取り外してください。
接続ケーブルに引っ掛かると、転倒や落下の原因となることがあります。
指示

分解や改造をしない
分解や改造をすると、火災やけがの原因となることがあります。
分解禁止

内部に水や異物を入れない
水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入った場合は、すぐに電源を切り、接続コードを抜いて、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。
禁止

安定した場所に設置する
ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、製品が落下してけがをすることがあります。
禁止

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは
内部を開けずに、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
本機の補修用部品を製造終了後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

型名:ECM-100U / ECM-100N

お問い合わせ・ご相談について

ホームページで調べる
よくあるお問い合わせ、窓口受付時間など
http://www.sony.jp/support/

電話で問い合わせる(ソニーの相談窓口)
● 使い方相談窓口
フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・　0120-333-020
携帯電話・PHS・
一部のIP電話・・・・・・・・・・・・・050-3754-9577

● 修理相談窓口
フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・　0120-222-330
携帯電話・PHS・
一部のIP電話・・・・・・・・・・・・　050-3754-9599
※ 取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に、「**309**」+「**#**」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。
FAX (共通) 0120-333-389

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

製品登録のおすすめ

ソニーは製品をご購入いただいたお客様のサポートの充実を図るため、製品登録をおすすめしております。詳しくはウェブ上の案内をご覧ください。
http://sony.jp/reg/

二次元コード読み取り機能でご利用ください。

製品のご登録についてのお問い合わせ
ソニーマーケティング(株) My Sonyお客様窓口
www.sony.jp/msc/inquiry